

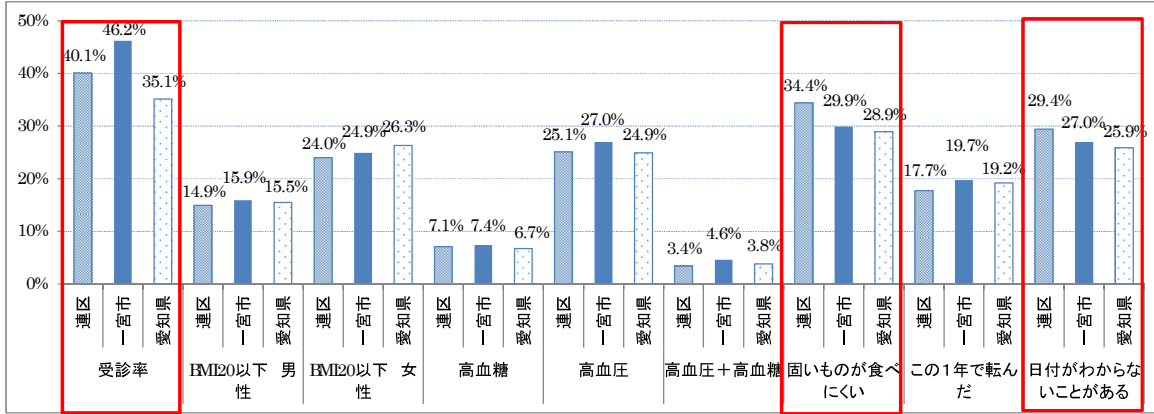
# ●大徳連区の情報●

## ⑦連区の人口構成 R6.4.1

総人口： 10,160 人 (男性 5,008人、女性 5,152人)  
 世帯数： 4,593  
 高齢化率： 28.2 % (市内高齢化率が高い順で23連区中10番目)

## ⑧一宮市後期高齢者医療制度 健康診査 (令和5年度)

被保険者人数 市 61,344 人 連区 1,988 人



「BMI 20以下」、「固いものが食べにくい」、「この1年で転んだ」、「日付がわからないことがある」の4点はフレイル(虚弱)に関する質問項目になります。 ...改善したいもの 資料：KDBシステム

## ⑨地域活動 (地域包括支援センター「泰玄会」や社会福祉協議会の活動より)

### 連区全体

- ・防災訓練を実施し、防災リーダー研修会を開催し、多くの方が参加されている。
- ・教養講座を開催し70代から80代の方が多数参加し、介護の相談窓口についても学んだ。
- ・民生児童委員、ケアマネジャーは、地域包括支援センターが主催した研修会「権利擁護研修」へ参加されている。
- ・認知症を抱える方への関心が高く、支会・地域包括支援センター合同開催「認知症ひとり歩き声掛け訓練(びさい声掛け隊)」へ多くの方が参加された。



### それぞれ地域での活動

- ・食事処が「写経、写仏、茶話会」などを通して、交流の場を提供している。
- ・老人会は定例会を開催し、交流の場を大切にしている。
- ・お寺で住職が「女性による茶話会」を開催している。
- ・お寺で俳句の会が開催され、交流の機会となっている。
- ・80代の方達が北今公民館を会場に交流を楽しみながら、介護予防に取り組んでいる。
- ・小学生親子、高齢者が参加されるサロンが西五城公民館で開催されている。
- ・食事処が子ども食堂を行う様になり、地域の高齢者も一緒に集う様になった。



## ⑩データから見る地域の特徴と健康の課題

### 《市全体のこと》

- 平均的に要介護2以上の期間は、男性で1.6年、女性で3.1年。この期間を短くすると、自分のことが自分でできる期間が長くなる。今後の、健康増進、介護予防の取り組みでこの年数を減らすことが望まれる。

### 《連区のこと》

- 健診受診率は市と比べると低い。後期高齢者の健診は、フレイル健診とも言われ、知らない間に進むカラダの変化のチェックができる。生活の中の工夫で、病気や介護を遠ざけることもできるから、1年に1回利用しよう。

かかりつけ医を持ち、病気だけでなく、カラダの変化も相談しよう。  
 これからは何がしたい？今後の人生に楽しい時間が増えるかもしれません♪



- 質問票の結果から、「固いものが食べにくい」人の割合や、「日付がわからないことがある」人の割合が市よりも多い。

フレイル予防の知識の普及と予防の取り組みを進める必要がある。

### ◆地域活動について

口腔機能が気になる人や、認知症予防を勧めたい人が多く、フレイルに注意したい人が多いが、地域活動や主体的な集まりに、多世代で関わっていることは、地域全体のフレイル予防に良い活動となっている。

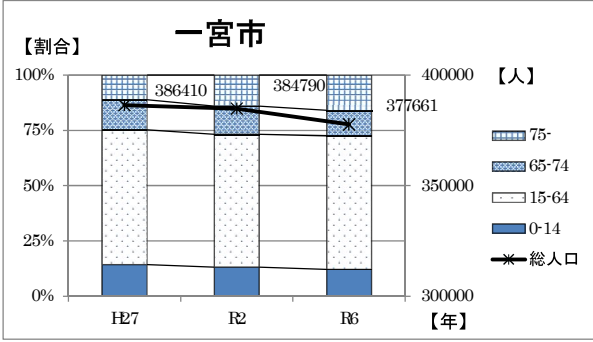
フレイル予防は、運動、食事、人との交流がキーポイント。  
 連区の活動は、フレイル予防に繋がっているね！



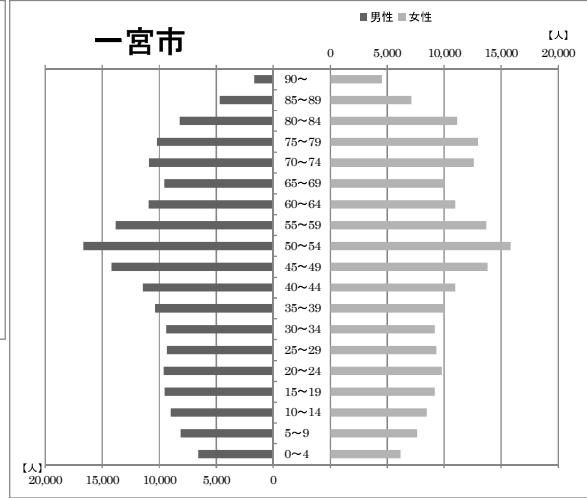
# 一宮市の情報

## 一宮市の情報

### ①人口推移(各年4月1日)



### ②男女別年齢階級別人口(令和6年4月1日)

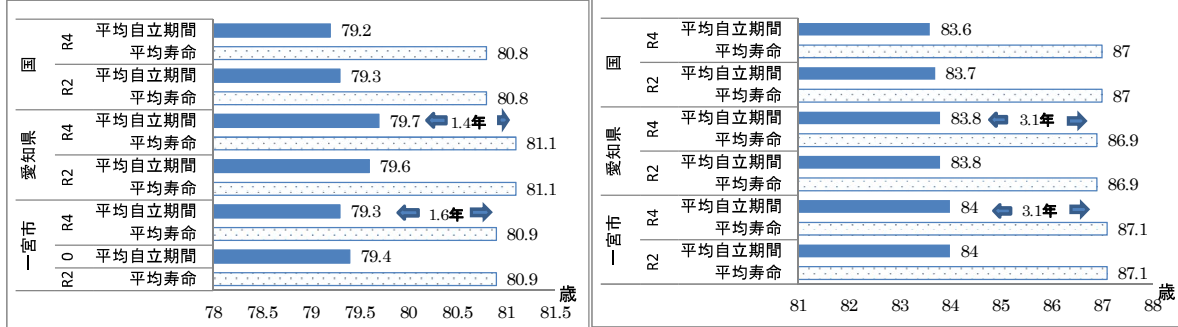


### ③人口構成(令和6年4月1日 住民基本台帳)

総人口: 377,661 人(男性 184,259人、女性 193,402人)  
 世帯数: 168,204  
 高齢化率: 27.4% (参考: R6国29.3%、R6愛知県25.8%)  
 要介護認定率: 17.5% (令和5年9月末 第9期高齢者福祉計画)

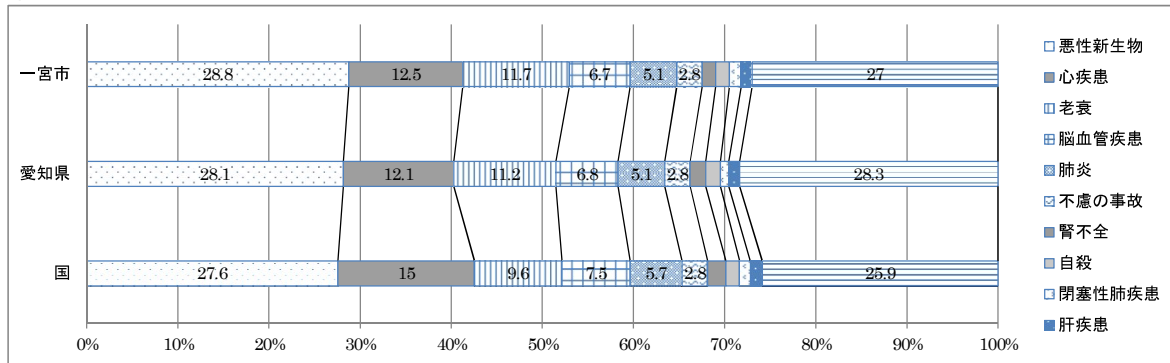
### ④平均自立期間(市町村レベルの健康寿命の指標)

平均自立期間とは、日常生活動作が自立している期間の平均年数を示す。要介護2以上を不健康状態と定義して、平均余命から不健康期間を除いたもので算出します。参考として、平均寿命を掲載しているが、単純に比較できるものではない。



平均寿命は、男女とも、令和2、4年は同じ。愛知県よりも男性は1.8年短く、女性は、0.2年長い。平均自立期間と平均寿命の差が、平均的な不健康期間となります。男性は約1.6年、女性は3.1年で男性は、愛知県よりも0.2年長く、女性は同等でした。

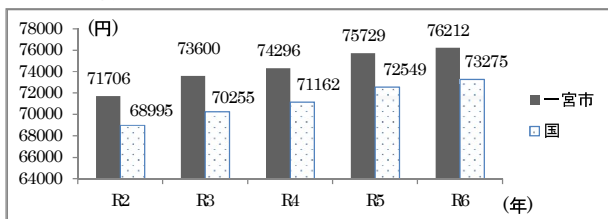
### ⑤主要死因別順位(令和2年度)



資料:健康日本21いちのみや計画

### ⑥後期高齢者医療保険制度 医療費データ

一人当たり医療費(一宮市)



死因の上位を悪性新生物、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が占めている。生活習慣病は、予防対策があるもから、かかりつけ医や保健師に相談し、自分にあった対策を考えよう。早めに対策することで医療費も安くなることもあるよ。



資料:KDBシステム